



お元気ですか

平成30年12月

調剤薬局を上手に利用しよう！！

こんなことはありませんか？

たとえば・・・ **薬の飲み残しがある**
受診するたび同じ持病の薬を処方されるが、実は「飲み残し」がたくさんあり、処分もできず困っている。

たとえば・・・ **薬の種類が多すぎて**
お医者さんに処方される薬の種類が多すぎて、「いつ・どの薬を・何錠」飲めばいいのかわからなくなる。

たとえば・・・ **複数の医療機関で処方**
複数の医療機関でいろいろな薬を処方されて、薬の重複や飲み合わせの良さなど不安がある。

たとえば・・・ **薬代が心配になる**
飲み続けなければならない薬が増えたので、薬代も増えて経済的に心配になっている。

【調剤薬局を上手に利用するポイント】

ポイント1 薬の飲み残しを相談する

飲み残しの薬（残薬）は、医療費の無駄につながります。薬局にもっていけば、薬剤師さんがチェックして、まだ使える薬は使い、お医者さんとも相談して処方を調整してくれる場合があります。

ポイント2 服薬しやすい工夫をしてもらう

薬の種類が多い時などは、薬局で1回分ずつ袋に小分けしてくれる場合があります。また、小分けした袋を1回分ずつポケットに入れる「お薬カレンダー」などを用意している薬局もあります。

ポイント3 お薬手帳に薬歴を記録

お薬手帳とは、自分の薬歴（薬の名前・量・日数など）を記録する薬局などで入手できる手帳です。調剤の際など薬剤師さんに薬の重複や飲み合わせを確認してもらいましょう。

ポイント4 ジェネリック医薬品に変更

ジェネリック（後発医薬品）とは、特許が切れた新薬と同じ効能・効果をもつ医薬品です。新薬に比べて価格が安いので、積極的に活用しましょう。

「かかりつけ薬局」をっていますか

「かかりつけ薬局」とは、処方箋をもらったら必ずそこで調剤してもらうと決めている薬局のことです。薬歴を把握した上で服薬のアドバイスをもらえるので助かります。